

《特選》

介護

亀山小学校 6年

田中 愛梨 さん

私のお母さんは、介護施設で働いています。

お母さんの働いている施設は、認知症の方が一緒に住んで共同生活を送っているそうです。お母さんの話によると、認知症の方の言っておられる事を、否定してはいけません。例えばご飯をもう食べたのに、食べてないと言っている方に「さっき食べたよね」というと、悲しんだり、自尊心が傷つけられたりするからだそうです。他にも、気づかないうちに、外に出てしまう方もいるそうです。そういう方たちには、ストレスが溜まらないように、

散歩に誘ったり、買い物に行ったり、レクリエーションをして頭や体を使ったり、家事を手伝ってもらったりしていると言っていました。また、認知症の方に大きな声で話しかけるとびっくりされたり、怖い思いをして混乱してしまったりするといけないから、安心してもらえるように、座って、目線を合わせて優しく声を掛けているそうです。私はこの話を聞いて、物忘れや外にでるからといって、差別してはいけないなと思いました。

私には、ひいおばあちゃんといひいおじいちゃんがいまひいおばあちゃんも、ひいおじいちゃんもあまりご飯を食べなくなっているの、とても心配です。ですが、ひいおじいちゃんも、畑で野菜などを育てています。ひいおじいちゃんも育てた野菜などを、たまに私たちがもらっています。ひいおばあちゃんも育てた野菜など、ひいおじいちゃんも育てた野菜など、ひいおじいちゃんも育てた野菜などを、たまに私たちがもらっています。ひいおばあちゃんも育てた野菜など、ひいおじいちゃんも育てた野菜などを、たまに私たちがもらっています。

ひいおばあちゃんも、ひいおじいちゃんもあまりご飯を食べなくなっているの、とても心配です。ですが、ひいおじいちゃんも、畑で野菜などを育てています。ひいおじいちゃんも育てた野菜などを、たまに私たちがもらっています。ひいおばあちゃんも育てた野菜など、ひいおじいちゃんも育てた野菜などを、たまに私たちがもらっています。

これらのお話をふまえて、物忘れがあったり、少しおかしな行動をするからといって、無視したり、話をしなかつたり、馬鹿にしたりしてはいけないことを改めて考えました。また、身近な人だけでなく、地域の方などにも、

同じような方がいたら、お母さんが話していたことを守って、自分から進んで声を掛けたいです。

《選評》

日本の介護は労働者不足により外国人に頼らなければならぬ社会情勢になっています。献身的に日本人を介護してくれる外国人がいる一方で、介護施設や障害者施設での人権を無視した扱いや暴力が報道されています。しかし、この筆者は介護施設で働く母親から人として大切な心を学び、それを身近な家族に置き換え実施しています。大人ができていない人権意識を家庭、地域へと広げて行こうとする心温まる作文です。